

1 幼稚園のスローガン

自分も友だちも大切にできる子

2 本年度の重点課題

今年度園内研修を数回行う中で、「子ども主体の保育」にしていく為にはどうしたら良いのかを職員同士で話し合いしながら保育を進めていきました。

手探りの中で始まっていたこととなりますので、職員間での話をしていきながら進めるようにしていく事を課題としていきました。

3 評価項目の達成及び取り組み

評価項目	結果	理由	関係者評価
保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> 年度途中から色々なことが始まっていったことでこの1年は移行期間となった為。 先生方がやりやすい方法を模索している途中でもある為。 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し異年齢の交流が出来るようにしていけたら良いと思う。 保育士同士の交流や公開保育の実施を考えていく方が良い。 6-①の設問に関してとても良いと思う。保育士間でコミュニケーションが取れていると思う。 スローガンが年度の途中であったため、来年度はしっかり年度初めから周知していくと良い。
保育の在り方	B	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は子ども達の事をしっかり見て保育をしてくれていると思うが、ここも「子ども主体」について考える期間になってしまったので少し厳しい結果にしております。 今後の保育に期待しているからの評価です。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修を行っていく中で、先生方はしっかり子供の様子を見ていると思う。 幼稚園時代はしっかり保育室の中にいるが、小学校にあがると教室に入れなくなってしまう。 2-①②がもう少し数字があってくると良い。 ケガ等の対応訓練も必要ではないか。
保育者としての資質	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方はよくやってくれていると思います。子どもの様子の研修を行ってもたくさんのエピソードを出してくれたり、他のクラスの保育士と話をして子どもの様子を伝えている姿を良く目にしています。 設問にたいして謙虚な姿も見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 設問に対して、職員が厳しく自己評価をしているのではないかなと思います。 毎日掃除等も行っているので、しっかりできていると思う。 研修で行っているので、しっかり話もできている。

保護者への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の送迎時は車になっているので顔を合せて話ができることが一番良いと思います。1日の様子も伝えられています。 ・幼小連携に対しては、これから先生方と勉強一緒にしていけたらと思います。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決についてはシステムはあるが、朝、理事長・園長が立っていることで話をしているので、すんでいるのではないか。 ・保護者に対しても、出来ることとできないことはしっかり説明する。 ・朝の時間に保護者お話を聞く時間があることは良い事です。
地域の自然や地域との関わり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・これから裏庭や2階の子育て支援センターが新規で始まることで、地域の人との触れ合いをもう少し持てるようにしていきたいです。 ・児童館の片瀬先生に話をしながら無理ないように勧めていきたいと思っています。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と一緒に裏庭の野菜作りや花作りを行うようにしていくと良い。 ・収穫祭やカレーパーティーなど行って地域と交流する ・児童館とのコラボ ・父親が積極的に参加出来る行事があると面白いのではないかな。
研修と研究	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、園内研修を何回も行ったことで職員同士の話し合いやキャリアアップ研修での事が生きてきたと思っています。ただ、研修を行っただけにならずもう少し深い所に食い込んでいけるようにしていきたいと思っています。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・砂場での遊び方は子供は自然と身につけて楽しんでいるのではないかなと思う。 ・研修等はしっかりやっているのでもっと評価を高くしても良いのではないかなと思う。
地域における子育て支援	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援については、開催日も少ない中親子に寄り添って開催してくれた。 ・来年度以降はもう少し地位から入れた講座等が企画できるようにしていきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の先生を読んでお母さん・お父さんに話をしてもらおう機会を設けても良いのではないかな。 ・行事を通して、親等を巻き込んでやっていける行事があると良い。 ・園全体で計画をして、職員も巻き込んでいくと良い。

結果の表示方法

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが、成果が十分でない

D 取り組みが不十分である

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

- ・設問のきき方の意図が良いと思った。
- ・今を見つめて改善策があると思うので、それを今後に生かしていくと良い。
- ・職員間のコミュニケーションが、良くなってきているという事で良いと思うので今後もスローガンに向けて保育を進めていってもらえたらと思います。
- ・「子ども主体」と一言と言っても難しいと思いますので、これからどう進んでいくのか楽しみにしています。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の見える化	・他の保育士の部屋に行って観察実習を行うなど、今年度やったことを再び行えるような時間を取るようになっていきたい
環境づくり	・裏庭が出来ることにより、野菜や花が増えるようになります。その環境をいかして食育や花育が出来るようになると思います。

6 学校関係者評価委員会

- ・先生方が前向きに進んでいる意見が多く出ていた。
- ・子ども達にも学ぶ姿勢を持っているようになっている。
- ・幼稚園に来るたびに雰囲気良くなっていると思う。先生方や子ども達の表情も変わっている。
- ・先生方の子どもへの接し方が変わってきているのではないか。
- ・子どもたち同士でも解決の方法を学んでいると思う。
- ・